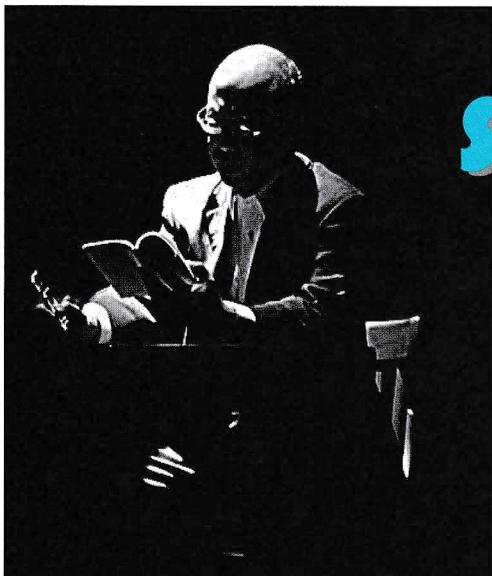


stage



三浦哲郎さんの短編作品集のリーディングを始めて、半年が経った。

そしてまた、平成6年から始めたFANSも600回を迎えようとしている。

「Friday Amusement Negative Shop」と銘打った毎週夜7時半からのFANS公演を、ここで改めて少し紹介させていただけるならば、敢えて「積み重ねることのつまらなさへの挑み」とでも訳そうか…。

FANSを始めた当初、「リーディングが気に入らない」「練習上げる期間が1週間もなく作品を作らねばならない」というのは、芸術・文化

をなめている」などなど、その道の関係者のありがたい？そして訳のわからないご意見を、本当に星の数ほどいただいた。

今にして思えば、嘘いつわりなく、本物と偽物が表現された瞬間だったのかもしれない。

いや、何も文化における本物と偽物という訳ではない。私の考え方が正しいとも思っていない。ただ、正に私が考えようとしていた、文化の抱える問題に、周りが素早く反応した瞬間だったのは確かであらう。

だからこそ、演劇の分野においても「劇団」というスタイルをとらず、FANSでもそれにこだわらなかつた。

「固定された集団」は、立ち上げた、もしくは集団がほしくてたまらない人のものである。FANSはそれにこだわらない。例えその行為が、「垂れ流し」だと言われようが、言いたい奴には言わせておけばいい。

それよりもっと大切な、人と人との交差点に立っていたい、そして交流したい。

そんなことを繰り返すうち、何かに気づいた僕らは、次の交差点

演劇空間スペースベン

FANSの挑戦

「crossing cafe」

〈文〉スペースベン主宰・田中 勉



へ歩み始める…。次の時代の、何か楽しいことしたい人、この指とまれ。

スペースベンを中心としたネットワークステージ、「crossing cafe」でお待ちしています。

そして私も、

血が騒ぐと言いか何と言いか
〈文〉創造集団パノラマ屋・安達良春

その昔、もう10年も前の話だが「パノラマ通信」なるものを発行していた。その第一号の紙上で、

10年前の自分はこう書いている。「様々な意見が集まり、またここから飛び立っていく。そんな場を造りたい」

なかなか良い事を言っているじやありません。必要とされて

「crossing cafe」の冠をフリーペーパー

「crossing cafe」の冠をフリーペーパー



「crossing cafe」とはクロスポイントにあるカフェ？ またまた意味不明の英語を引っ張り出して語ってやるうじゃないか！ crossing cafeで繰り広げられるcross fireを経由して、人はcrosspatchになるのか！ はたまたcrossoverするの？

8月のFriday Amusement Negative Shop

■8月5日 (第600回)
FANS600回記念公演
三浦哲郎作品集リーディングvol.26

■8月12日 (第601回)
三浦哲郎作品集リーディングvol.27
構成・出演：安達良春

■8月19日 (第602回)
三浦哲郎作品集リーディングvol.28

■8月26日 (第603回)
三浦哲郎作品集リーディングvol.29

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般500円 高校生以下100円 ※料金改定しました！ 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になれます。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認ください。

tsutomu_tanaka ☎070-5095-2028
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com

演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 03-5908-9120